

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2022年 1月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2022年 1月 1日発行 通巻345号

今年こそは

無事故で楽しい山行を

1月号目次

・ 目次	2
・ 新年のご挨拶 野田理事長	3
鶴田副理事長 広木会長	4
伊東教遭委員長 田中ハイキング委員長	5
安彦海外委員長	6
・ 12月理事会報告	7
・ オンライン講習会報告	11
・ ハイキング委員会 リレーエッセー	12
・ 山行報告 かがりび山の会	13
山の会らんたん	14
・ 1月・2月予定表	16

2022年 新年のご挨拶

2022年1月 千葉県連理事長 野田久生

皆様、新年おめでとうございます。本年はコロナを克服した良い年となることを願っています。

昨年4月に理事長に就任して9カ月が過ぎました。この間新型コロナのため県連活動にも影響がありました。理事会などほとんどがリモート会議となり、昨年12月の理事会が初めて対面で行うことができ、時々対面方式も必要と感じました。年末より世界中で拡大しているオミクロン株の国内での拡散が心配されています。今後の見通しは不透明ですが早く収束することを願っています。



今年度は理事長就任2年目になります。県連役員、理事の方々と協力しながらより良い県連を目指して活動を行ってまいります。皆様方のご理解、ご協力お願い致します。

皆様へ

1. 会活動（山行、組織運営等）を楽しみましょう。（充実感、達成感、感動の授受）非日常体験を楽しみましょう。

2. 地域社会への貢献に寄与しましょう。

千葉県連は16会657人の大きな団体です。登山活動等を行いながら社会への貢献に寄与しましょう。クリーンハイク等の自然保護活動もその一環です。

3. デジタル化社会との共存

情報化の進展は益々進み生活様式が変わろうとしています。情報化を山行活動にうまく活用していきたいものです。スマホの地図アプリの利用、リモート打合せ、SNSによる情報共有など使いこなせば便利なものもあります。またこれまで長く培ってきた登山文化も大切にしていきたいと思います。このような時代ですので、人と人の関係を更に大切にしていきたいです。

私は昨年古希を過ぎました。自分ではまだまだ元気とは思っていますが、体力に合わせた山行を今後も続けて行きます。どこかの山でお会いした時にはよろしくお願ひします。・・・

以 上



昨年10月 石割山から富士山を望む

新年挨拶

副理事長 鶴田 秀雄

【山とお酒と何か】

明けましておめでとうございます。

旧年中は県連活動にご尽力いただき深く感謝いたします。

さて私事で恐縮ですが、

一昨年10月以来山に登らずお酒も飲まずの生活が約15ヵ月間続いております。

このような体になってしまいました。

当初は登りたい、飲みたいという気持ちが強く出て苦しみました。

ところがお酒の方は飲みたいという気持ちが薄らいでいき、今では飲まないのが当たり前を受け止めるようになりました。

一方山は、依然として登りたいという気持ちが消えることはありません。

この差はどこから来るのでしょうか。付き合った年月の長さの差でしょうか。

ただ残念なことです、山もいずれお酒のようになると思っています。

その時深く追い求めず、今まで私の人生を豊かにしてくれたことに感謝して自然に別れることができればと思っています。

そして、もしかしたら山とお酒にかわって、新しい何かが私の心に入ってくるかもしれません。

それまで元気でいたいです。

新年のご挨拶

会長 広木 国昭

新しい年を迎える事が出来ました。

昨年は、コロナ禍により予定した県連盟活動が全く出来ませんでした。

この様な厳しい状況の中、会と会員の皆様のご理解とご協力をありがとうございました。

2月に予定した「会代表者・県連理事合同会議」は開催出来ず、議案討議、賛否集約等を各会の協力で実施出来ました。この時は、会と会員の皆さんの協力を力強く感じました。役員会と理事会はZOOMで実施しましたが、委員会活動は全く出来ませんでした。

会活動にも大きな影響があったとの報告がありました。会の定例会は密を避けての対面やZOOM会議での実施、何より山の会としてコロナ禍での山行の大変な事を実感しました。

私たちは、登山やハイキングを楽しむ団体で、そのために入会しています。

しかし、この様な中での山行には大きな制限があり、厳しい現状は変わらないと思います。

この様な状況だからこそ、仲間と楽しい山行が必要で、そのために山の会があります。

コロナ対策を万全にして思い切り楽しんで下さい。

そして、素晴らしい一年にして下さい。

新年のご挨拶

千葉労山教遭委員会 委員長 伊東春正（かがりび山の会）

みなさん、明けましておめでとうございます。

一昨年来、新型コロナウイルス感染症がまん延しており、災害レベルの対応がされています。

災害といえば、首都直下地震と富士山の噴火も忘れてはなりません。

首都直下地震は、2014年に政府より「首都直下地震は今後30年間に70%の確率で起きる」との見解が示されており、千葉県では震度6が予測されています。

富士山の噴火は、これまで180回以上あり、平均で30年に1回噴火しているそうです。最後の噴火は今から約300年前の江戸時代です。

もし、噴火すれば千葉県でも火山灰が2cm積もると予測されています。

自然災害国日本ですが、我々にできることは備えることぐらいしかありません。

新年早々、暗いはなしとなってしまいましたが、せめて人為災害である遭難事故だけは起こさないようにしたいものです。

掛け持ち役員で頑張ります

ハイキング委員長 田中 康男

あけましておめでとうございます。 原稿を書こうと思った頃に、コロナ第6波が確定しそうな事態になっています。

2020年の秋、久しぶりにお会いした、私達の会員。 再会が大変うれしく、私も含めて体力が、顕著に落ちているように感じました。

コロナのすきを縫って、まずは再会を楽しむゆるいハイキングをしたいと思います。

安村さんの「コロナ禍の山行」を受講して、房総の山でも、車が2台なければいやなコースを、ゆっくりかつ後半の車部分を歩いて・・・。

長時間もいいのではと思っています。新年から1年通しての、行事にしてみようかと。

昨年小学生の見守りで、町内のシニアが「文部科学大臣表彰」を受けました。

当初、私も含めて『なんで?』と言いましたが、だんだん納得。

確か 葵の紋が付いていました。

『コロナ禍』トンネルから1日も早く抜けだせることを願って…

＜海外委員会委員長＞ 安彦秀夫（東葛山の会）

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いします



コロナ禍で、数年継続してきた千葉県連：海外トレッキングが、2020年、2021年と2年続けて企画することができませんでした。

それで、『これに代わるものとして何かできないだろうか…』と海外委員会で話しあい、山岳プロガイドのマウンテンゴリラこと安村淳さんに相談をしたところ、快く引き受けていただき、9月～12月に、『オンライン講演会』全4回を開催することができました。

安村先生そして参加者の皆さんに御礼申し上げます。ありがとうございました。

一連の講演で、登山・トレッキングをする際の心構えや体力づくり、トレーニングなどに付いて安村先生の実体験から数多くのことを学ぶ（知る）ことができました。今後の山歩きに活かしていきたい…と改めて決意をしたところです。

是非、県連所属の多くの会員の皆さんも講演内容を参考にして、国内の山歩きは勿論のこと、海外トレッキングにも挑戦をしていただきたいと願っています。

（講演会のテキスト、資料、Q&A、受講感想は、県連ホームページに掲載）。

コロナ禍が1日も早く落ち着き、海外への登山も以前のように自由にできるようになることを切に願っています。

その時には、2020年春に行った『海外登山目的地アンケート』の結果を参考に、『千葉県連海外トレッキング』を企画したいと考えています。その際には、是非多くの皆さんの参加をお待ちしています。

また、『こんな企画を是非して欲しい…』という要望・夢などがありましたら、どんなことでも構いませんので、お知らせいただきたいと思います。

私の全く個人的な目標の一つに、『日本百名山全山複数回登頂』があります。しかし、年齢を重ねるごとに身体のあちこちに『ガタ(?)』が出てきて、思うように遠出ができなくなりました。

その『ガタ(?)』が幾分落ち着いてきたように感じ、「遠出ができるな…」と嬉しく思っていたところに、新たな問題の『コロナ禍』が急襲し、足止め（停滞）状態が2017年5月より続いています。残り『32座』のままです。

『2022年こそ、目標達成に1歩でも近づけること』を秘かに願っています。

(2021/12/25/Sat.)

千葉県勤労者山岳連盟 2021年12月理事会 議事録

議事録作成者 荒井 良 (山の会「岳樺クラブ」)

◆ 場所：船橋西部公民館 第4会議室

◆ 日時：2021年12月16日(木) 19:00~21:50

◆ 出席：(連理事会)山の会らんたん、松戸山の会、君津ケルン山の会、茂原道標山の会、岳人あびこ、東葛山の会、ふわくハイキングサークル、千葉こまくさハイキングクラブ、市川山の会、千葉民医連山を歩こう会、山の会「岳樺クラブ」、ちば山の会、まつど山翠会

(役員) 広木会長、野田理事長、伊東教育遭難対策委員 菅井自然保護委員長、安彦海外委員長、田中ハッキング委員長、(全国理事)：山本全国連盟理事

◆ 議事

1. 野田理事長挨拶

・本年度対面式での会議はこの12月理事会が初めてである。今後もコロナについては不透明であるが次年度は頑張っていきたい。役員は3月の総会に向けて準備中であり、役員選出など各会にもご協力をお願いしたい。

2. 役員会報告(広木会長)

- ・12/8実施、主に次年度の総会についてが主題、3月第1(土)または(日)千葉県総合スポーツ宿泊研修所会議室を予定。
- ・議案書は各会にメール配信するので、各会で必要に応じて印刷してください。
- ・総会の議長の選出をお願いしたい。会員10名につき代議員一名。現在事務局長の欠員は問題である。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会(伊東)

- ①11/21 40歳(女性)ボルダリングジムにて落下、左膝じん帯断裂。
- ②12/27 委員会をZOOM会議にて実施、次年度計画を協議予定。

2) 自然保護委員会(菅井)

- ①今年度はコロナの影響で活動が出来なかった。千葉こまくさハイキングクラブが花見川で清掃活動を実施。千葉ニュースに掲載した。ふわくハイキングサークル田中さんが個人で活動している。
- ②来年度は、海洋プラスチックの問題に向け取り組んでいきたい。
- ③関東ブロック自然保護交流集会を秋ごろ予定している。

3) ハイキング委員会(田中)

- ①実施は1/29予定。各会にて個別に登山計画書等作成してください。
- ②第36回房総ロングハイク募集および関連地図の提出があった。
- ③参加人員は60人程度を予想。参加者を1/10までにメールで田中まで連絡の事。

4) 組織委員会(野田)

- ①会状況調査表が未提出の会は、早急に提出をお願いします。

②コロナが会活動に与えた影響調査表は、1月8日・野田まで提出をお願いします。

5) 女性委員会 (広木)

①12/8・ZOOM会議で実施。女性委員会の設立意義について説明。

各会から女性委員の選出をお願いします。

②来年度は、ワンコイン講習会を実施する。(山筋ゴーゴー体操・安心安全登山)

6) 海外委員会 (安彦)

①12/23(木)第4回オンライン講習会に海外委員の参加を呼び掛けた。

②次回委員会予定は1/13(木)を予定している。

7) 機関紙委員会 (広木)

①機関紙委員会は開催出来てない。

②ちばニュースへの投稿が、コロナ禍の影響で山行が少なくなった事もあり少なくなっています。個人山行、会山行報告の投稿をお願いします。

③山行報告等での個人情報の扱い(氏名、顔写真など)はどうなっているのか(東葛山の会安彦氏の質問)。広木委員長:個人情報の掲載は、当該会からの投稿時に検討して投稿してください。機関紙委員会としては特別な配慮はしていない。

4. 県連総会関連

1) 総会準備等

総会は2022年3月5日(土)または6(日)(抽選結果)、千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所を予定している。

2) 議案資料

①1月理事会で原案提出⇒理事会で討議修正⇒2月理事会で最終確認

②資料はPDFにて各会に配布(40ページ程度)印刷は各会で実施して下さい。

3) 会計監査

松戸山の会にお願いして、了解を得ています。

4) 役員選出の依頼。

①現在空席は「副会長」「副会計」「事務局長」である。

②県連活動に支障をきたしている为上記役員を来年度はぜひ選出したい。

③特に事務局長は是非とも選出願いたい。

④総会時の議長、書記の選出をお願いしたい。

5. 全国連からの情報展開 (野田理事長)

1) 栄誉功労章の推薦手続きは完了した。安彦役員、伊東役員、荒井理事。

2) 永年会員章の推薦(労山会員20年以上かつ現会員であること)は各会にて直接全国連へ申請すること(12/31まで)

3) 各会、会員数の提出

11月末での会員数提出は次年度連盟費算出の根拠となる。未提出の会は早急に提出願います。訂正がある場合には12/19までに野田までメールください。

4) 来年度の全国連盟役員について

①全国理事:石川昌氏(船橋勤労者山の会)、山本尚徳氏(かがりび山の会)

労山基金運営委員:鶴田秀雄氏(ちば山の会)を推薦する。

②新たに全国連役員への推薦などあればお願いしたい。

- 5) 第35回全国連総会（総会は2年毎）次回は2022年2月19日～20日
ホテルコンチネンタル府中にて、千葉県連からは野田理事長、安彦委員、伊東委員
の3名が総会代議員として参加予定。

6. 各会理事からの活動状況報告

1) 市川山の会（松宮）

- ・コロナで活動はあまりしていない（1月に総会があった）
- ・山行は貸し切りバスでの例会が主体。例年は年間13回程度実施しているがコロナ以降半数の7回に留まっている。延べ参加者150名程度。
- ・労山非会員が80名程度いる、労山会員は10名。労山に入らないのは他所で短期保険に加入できるので労山に入る必要を感じていない。
- ・高齢化に加えて女性会員の増加もあってリーダー不足が悩みである。

2) ちば山の会（塚内）

- ・個人山行が主。会員104名。40～50代がホームページからホームページ入会してくる。
- ・ホームページには、ジャンル（岩、沢、スキー、クライミングなど）が多岐にわたって掲載しているので良くわかり、問い合わせも多くなる。
- ・ジャンルごとにリーダーが複数在籍している。
- ・千葉市中心でもなく広範囲に会員が分布している。

3) こまくさハイキングクラブ（海瀬）

- ・コロナにより例会は2か月に一回。例会は会報の配布のみなので例会離れが起きているので、どうしたら面白くできるのか委員会を立ち上げた。
- ・山の魅力を伝えて参加者を募るよう検討中である。
- ・会員数123名。そのためランク制（A,B,C）を取っている。全てのメンバーは必ずAから始まる。
- ・会山行は月15回、個人山行も活発。会の名前がいいのではないか、そのため入会者が多いと思われえる。
- ・役員が決らないのが悩み。古い会員順としているが親の介護などあり難しい。

4) 東葛山の会（羽鳥）

- ・来年45周年。48名会員。平均年齢73歳。山行は年間計画を総会で決める。
- ・45周年の記念誌、シャツ、山行など記念の準備中である。
- ・高齢化のため主流はハイキング、体力に合った山行が多くなっている。
- ・バスハイク11月実施、紅葉が素晴らしかった。例年の忘年山行はコロナで中止し、代わりに大型バスにて日帰り山行になった。
- ・会員減少により50周年はどうするか危惧している。

7. その他連絡事項等

- 1) 次年度の理事会はZOOM会議とするか、対面式会議とするか役員で検討する。
時々、対面式で行った方がよいとの意見有。

2) 全国連盟報告（山本理事）

- ・登山時報は、製本での作成は中止する予定である。
- ・自然保護憲章が 750 部余っているので有効活用をお願いします。
県連事務所にもあるので、希望会は連絡をお願いします（広木会長まで）
- ・全国的にみて会員が増加している会が 120 の会ある。どうして増加したのか。
昨年度は千葉県では「ちば山の会」のみであった。増加理由のポイントを野田理事長までお知らせ願いたい。

文責 広木 国昭

以上

房総ロングハイクの案内

昨年中止になった「房総ロングハイク」を下記により実施します。
コロナ禍の現状での実施には不安もあります。参加者の皆さんにコロナ対策の徹底をお願いする事で実施に踏み切りました。

参加者の皆さんは、十分なコロナ対策と日頃の安全登山の徹底をして参加・協力をお願いします。

記

- ・実施日 2022年 1月29日（土）
- ・場 所 JR浪花駅～御宿海岸
浪花駅から、田園の中を海岸に向かってノンビリ歩きます。
途中、南房総特有の広葉樹林の中を、ゆるやかなアップダウンを繰り返し、所々で台風の被害の倒木をくぐったり、またいだりして尾根道を少し歩きます。
海岸線のコースは、太平洋を眺め、潮風を受けて南房総を満喫できるコースです。昼食は、黒潮も見える？ビッグポイントでゆっくりといただけるとと思います。（天気良ければですが）
- ・集 合 JR浪花駅 : 8時45分（JR千葉駅発 7時10分発乗車）
- ・雨天時 1月27日（木）に、天気予報を参考に判断します。
中止の時は、田中より県連理事に連絡をします。
- ・参加者は、山行計画書を会に提出して下さい。
山行計画書のコピーを、田中まで送って下さい。
山行計画書で、参加者の把握をします。ご協力をお願いします。
- ・問い合わせ先 ハイキング委員長 田中 康男
連絡先 (Eメール: DZB05434@nifty.ne.jp)

『県連第4回オンライン講演会』参加者25名で開催

テーマ：『アフターコロナの山行②』

海外の高高所（3500m～5800m）トレッキング

12月23日（木）午後7時～8時30分

＜オンライン講演会事務局＞ 安彦秀夫（東葛山の会）

不安と期待でスタートした『オンライン講演会』も、当初予定の全4回を何とか無事に終了することができました。多くの皆さんに感謝いたします。

安村先生には、実体験に基づいたオリジナルのテキストや資料を毎回準備していただき、語りかけるように講演をしていただきました。

また、廣木会長には、随時適切なアドバイスを頂き、講演会の準備そして開催する上で私の支えになっていただきました。

更に、受講者の皆さんからは、毎回、叱咤激励や感謝・提言などをメールでいただき大きな励みになりました。

併せて、毎回多くの質問や受講感想なども参加者からメールでいただき、その都度、安村先生から懇切丁寧な回答をいただき、日ごろ抱いている疑問・不安などが解消し、より一層受講者の皆さんにとっては有意義な講演会になったのでは…と思います。

この数ヶ月間は、慣れないパソコン操作を、「やらなければ…」と思いながら行ってきました。お陰様で、私のパソコンスキルは、いくらかはアップしたのでは…と思っています（自画自賛？）。

講演会開催のきっかけとなった『高山病、高所順応』などについて、後半2回で講演をしていただきました。

最終回では、安村夫妻が歩いた『エベレスト街道』の写真の説明をお聞きし、この目で『エベレスト』を見てみたい…という思いが、より強くなりました。

皆さんはいかがでしたでしょうか？

海外委員会として、コロナ禍が落ち着き、以前のように海外に自由に行けるようになりましたら、海外トレッキングの企画を具体化したいと思っています。

最後に、安村先生からの『生涯現役・生涯登山者』の言葉で終わりとします。

全4回に参加いただきました皆さん、ありがとうございました。

次は、県連行事でお会いしましょう！

*全4回のテキスト、資料、Q&A、受講感想等は、県連ホームページに掲載中です。（2021/12/25/Sat.）



キリマンジャロとマウンジェ峰を帰りの飛行機から望む（2017年9月）

昔、何回か行っているコースを久しぶりに行く事になり出掛けたが、とんだハプニングの山行になってしまった。

芸術アート作品を見ながら最初の気になる「緑のラブレター」山頂から京塚山、一本松山、車道に降りてそこから見える「目玉の山」や他のアートを見ながらゆっくり歩き葛原（とずら）の葛原神社で昼食タイムを取る。

此処迄は順調に進んで良かったが、次の金剛山に向かって出発して急登を登り切った尾根の分岐点迄は順調で良かった。ここで私のコンピューターが狂ってしまった。

（本当なら左に行き名倉金剛山から高倉山の「目玉」の現場を確認して藤野駅に戻る予定でした）

所が今までなかった標識があり右に「鶴島金剛山」とあり、そのまま鵜呑みにして入ってしまった。いきなり急登になったが、まだ気が付かずに立派な標識と展望の開けた山頂に着いた。下に湖があり上野原方面の山間を遠望出来た。見たことがない場所に来たな？とようやく気が付いた、天神峠方面とあったのでそこに出れば良いと錯覚して下山開始する。

所が最初から急下降のトラロープの使用の連続で閉口する。兎に角下山しかないので苦戦しながら進む事小一時間、ようやく林道から車道に到着出来た。（新開発コースだった）

そこは上野原⇄無生野間のバス通りで運よく坂下バス停に降りる。15:32のバスに間に合って上野原駅に出てようやく帰る事が出来た。

今回はパンフレットのみで簡単に考えたのがそもそもミスでした。25000/1 地図は持参する事、反省でした。

後で調べたら藤野には名倉金剛山、日連金剛山、それと今度の鶴島金剛山の3山ある事を知りました。お陰で新コースゲット出来たのは収穫でした。

藤野には29箇所芸術アートがあります。18箇所までは見ました。後はゆっくり見に行くべく取ってあります。



鶴島金剛山にて



弁天橋からの秋

房総の山／烏場山 山行報告

かがりび山の会 伊東春正

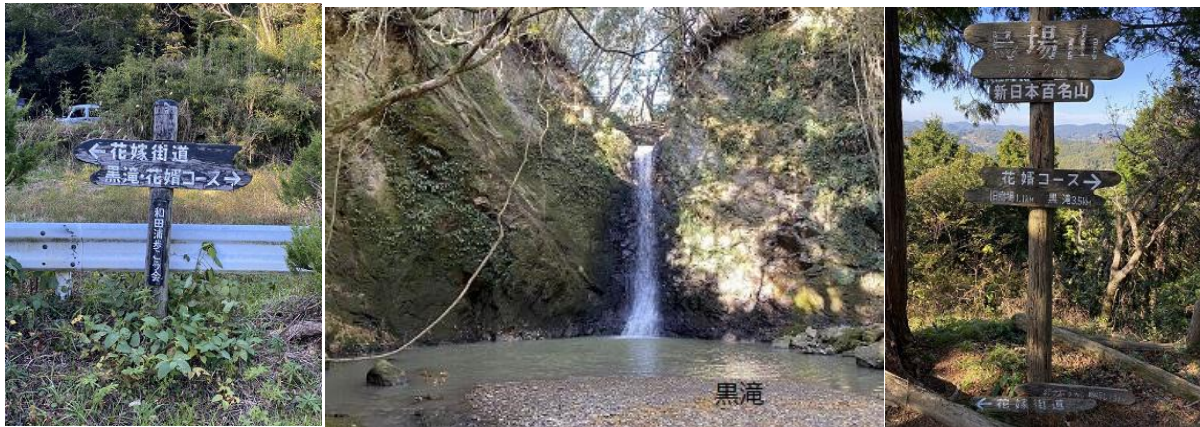
かがりび山の会では、12月11日に忘年山行として烏場山に登りました。

当日の参加者は18名、4班編成で花嫁街道スタート組と花婿街道スタート組とに分かれて交差縦走を行いました。

快晴で絶好のハイキング日和、案内の標識が親切で、南側には太平洋、西側は遠く富士山など要所に展望スポットがあり、4時間の周回コースを楽しみました。

登山道は倒木が多いものの、有志の方が整備しているようで、全く問題ありませんでした。感謝いたします。

我々の山岳会も整備活動には関わりたいと思いますが、まずは、地元の山の状況を知ろうと、房総の山に登られた方は、ちばニュースに積極的に投稿していきましょう。



忘年山行報告

霧積温泉金湯館 剣の峰 妙義山見晴台

山の会らんたん 鈴木武久

柏駅を男性5名、女性7名、車3台で朝6時に出発した。
途中鶴ヶ島付近で事故渋滞があったが、予定通り9時に松井田妙義ICに到着。
途中のコンビニで宴会の為のお酒を仕入れた。

金湯館駐車場迄の道は近づくにつれて道幅が狭く、くねくねして大変だった。
駐車場に宿からマイクロバスが迎えに来てくれた。10分位で金湯館に到着。
必要な装備だけ持って剣の峰へ出発した。

登り始めてすぐ、枯葉の深さに驚いたなんと膝くらいまである。まるで新雪をラッセルしているような感覚、ドングリがいっぱい落ちている。常緑樹はなく木々は葉を全部落とし、もうすぐ雪が降る初冬の枯れた山の雰囲気、いっぱいを感じながら登った。

途中一か所クサリ場あり、最後の山頂直下の70mの登りはきつかったが、全体的に適度にアップダウンあり登りやすい山だった。

晴れていたのでも山頂からは、浅間山始め360度眺めることができた。

寒いので30分昼食休憩し下山開始した。来た同じ道に戻るのでも心配もせず下っていたら、どうもおかしい。あわててスマホで地図確認したらコースを大分ずれていた。50mは下ってしまったが、リーダーの私始め誰も気がつかなかった。道が枯葉で埋まっていた注意して歩かなければいけない事を痛感した。

午後3時に宿に到着、さっそく温泉につかって、冷えた体をゆっくり癒した。

夕食迄2時間もあり、宿で用意してくれたコタツの部屋で、コンビニで買ったお酒と、つまみで、楽しいひと時を過ごした。そして夕食が始まった。岩魚や豚汁など食べきれないほどの美味しい料理の数々、コロナ騒ぎで泊りの山行は長いことやっていなかったのでも、お酒も入り夜遅くまで久しぶりに話しがはずんだ。

2日目はゆっくり8時に朝食を取った。

宿の人が庭にカモシカが来ていると知らせに来た。時々餌を求めて現れるとの事。朝食も山菜づくしで美味しかった。

宿を9時に出発し、まず妙義神社を参拝。女性陣はお土産売り場で下仁田ネ

ギ等を買って求めていた。

次に仲之嶽神社の駐車場まで妙義山を右手に見ながらドライブ。神社の社殿は長い階段の上にあった。社殿の真後ろにある御神体轟岩には5人のメンバーが挑戦して登った。頂上に登った処をパチリとカメラに収めた。残りのメンバーは見晴台へ出発。

これ以上無いほどの快晴に恵まれ、風もなく、最高の登山日和でした。帰りの高速は渋滞もなく、柏に3時半に着きました。皆さんのお陰で全員ケガ、事故等なくすばらしい忘年山行出来ました事はリーダーとして最高の幸せでした。運転担当の方も御苦労さまでした。



県連予定表

1月			2月		
日付	曜日	県連行事予定	日付	曜日	県連行事予定
1	土		1	火	
2	日		2	水	
3	月		3	木	
4	火		4	金	
5	水	役員会	5	土	
6	木		6	日	
7	金		7	月	
8	土		8	火	役員会
9	日		9	水	
10	月		10	木	
11	火		11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	
17	月		17	木	理事会
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	理事会	20	日	
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日		23	水	
24	月	教遭委員会	24	木	
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	
28	金		28	月	教遭委員会
29	土	房総ロングハイク			
30	日				
31	月				

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>